

Anta (2020 HK)

中国 / 一般消費者向けスポーツウェア / 企業レポート

高級ブランドのポートフォリオを拡充

2016年5月27日

- 15年度の純利益は同業他社をアウトパフォームした
- 16年度第4四半期向けの受注額の伸びが改善した
- FILAならびに Kids スポーツウェアシリーズの売上高は前年比で50%を上回る伸びを記録した
- 海外での買収を通じてニッチな市場に進出



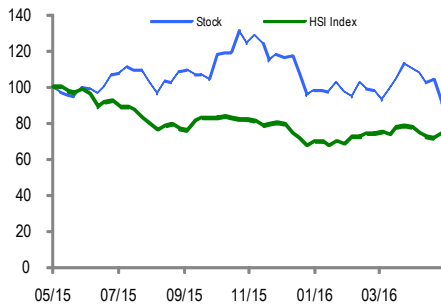
予想の修正 (%)

12月31日決算	16年度予想	17年度予想
売上高の変更	N.A.	N.A.
純利益の変更	N.A.	N.A.
EPSの変更	N.A.	N.A.

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	24.35 / 15.81	香港ドル
30日間の1日平均出来高	7.12	百万
発行済み株式数	2,501.23	百万
時価総額	42,221	百万
主要株主	S. Z. DING & ASSO.(55.30%)	

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	14年度	15年度	16年度 予想	17年度 予想
売上高(100万人民元)	8,923	11,126	12,989	14,893
伸び率(%)	22.5	24.7	16.7	14.7
純利益(100万人民元)	1,700	2,040	2,333	2,692
伸び率(%)	29.3	20.0	14.4	15.4
EPS(人民元)	0.68	0.87	0.93	1.08
伸び率(%)	29.2	19.9	14.3	16.0
PER(倍)	19.3	16.2	14.8	13.2
DPS(人民元)	0.42	0.50	0.64	0.74
イールド(%)	3.85	2.82	4.50	5.17

出典: Bloomberg コンセンサス

最新情報

Anta (2020)の16年度第4四半期向けのトレードフェアにおけるANTAブランド商品の受注額は前年比2桁前半の伸びを記録し、16年度第1四半期の同ブランド商品の小売売上高は1桁半ばの伸びとなった。

手掛かり材料

15年度の純利益は同業他社をアウトパフォームした Anta の15年度の売上高/純利益は111億3,000万人民元(前年比25%増)/20億4,000万人民元(同20%増)になった。研究・開発への取り組みを強化したおかげで、新たに発売した機能性スポーツ用品は同社全体の売上高/純利益の30%/50%を占めた。同社全体の粗利益率は、FILAブランド商品に対する値引きの縮小ならびに原材料コストの低下を受けて1.5ポイント上昇して46.6%になった。

16年度第4四半期向けの受注額の伸びが改善した 16年度第4四半期向けのトレードフェアにおけるANTAブランド商品の受注額は前年比で2桁前半の伸びを記録し、16年度第3四半期分の1桁後半の伸びから改善し、業界平均を上回った。しかし、比較可能な店舗数が半分に減り、値引き率が2~3ポイント上昇したことから、中核ブランドの16年度第1四半期の既存店売上高は1桁前半の伸びに留まった。

FILAならびに Anta Kids スポーツウェアシリーズは前年比で50%増となった 15年度にAnta KidsとFILAの売上高は共に50%を上回る伸びを記録し、売上高全体のそれぞれ24%、18%を占めた。経営陣は、Kidsシリーズならびに高級志向のFILAブランドの店舗展開ペースを加速させる計画であり、16年度に2桁増の達成を目指している。16年度下半期に、Antaは特定のFILA商品の平均販売価格を引き上げる予定であり、それにより粗利益率が拡大するだろう。

海外のプロイメージブランドの買収を通じてニッチな市場に進出 Antaは、ANDESの高級スキー用品の中国における独占販売権に関して、同社と合併契約を締結すると発表した。経営陣は、同ブランドが売上高全体の10%を占め、EBITマージン/店舗当たりの売上高が15%/400万人民元になり、FILAと肩を並べるようになる予想している。当社は、Antaが多様なブランドポートフォリオによってニッチな市場に進出できるようになり、それが市場シェアの拡大に一役買い、グローバル化が一層進むと考えている。

当社の見方

ANTA以外のブランドが売上高全体の過半数を占めるようになる 魅力的な価格と品質を原動力として、2015年にANTAブランドのスポーツシューズの中国での販売量はNikeを上回った。高級志向のFILAブランド、KidsシリーズならびにEコマースプラットフォームの持続的かつ力強い伸び、それにM&Aの可能性を考慮した上で、当社はAntaがANTA以外のブランドを売上高全体の50%にするという目標の達成に向けて順調に進んでいると見ている。

割安なバリュエーション 当社は、Antaが16年度/17年度の純利益について市場のコンセンサスである14%増/15%増を十分に達成できると考えている。Antaは現在、16年度の予想PER/配当イールドで15.2倍/4.5%の水準で取引されており、Nike(NIKE US)/Adidas(ADS GR)の25.9倍/27.0倍を下回っている。また、Belle(1880 HK)が16年度のスポーツウェアの小売売上高が16%増になったと発表したが、Antaに対するポジティブな見方を支えている。

免責事項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。